

2025 年 8 月 25 日

株式会社総合車両製作所

東急電鉄 5000 系（初代・通称『青ガエル』）が機械遺産に認定

株式会社総合車両製作所（本社：横浜市金沢区、代表取締役社長：照井英之）は、2022 年に東急電鉄 5000 系（初代）通称『青ガエル』の先頭車デハ 5015 号車を取得し、横浜事業所にて製造当初の状態への復原作業に取り組んでおります。

本車両は、当社の前身である東急車輛製造株式会社が 1954 年から 1959 年にかけて 105 両製造した全鋼製高速度電車で、以後の日本の電車の高速化に寄与し、新幹線など高速鉄道の礎となりました。2022 年の当社創立 10 周年記念事業の一つとして、当時長野県内に保存されていたものを横浜事業所に里帰りさせ復原作業を進め、現在は、台車を含む外観の復原が完了しております。

この度、当該車両が 2025 年度日本機械学会「機械遺産」に認定され、8 月 23 日に認定式が執り行われました。これは、航空機技術を用いた円弧状車体の開発によって、それまでの日本の電車製造史上類のない、電動車で 10 トン以上もの軽量化を達成し、最高設計速度 120km/h という「超軽量電車」を登場させたことが評価されたものです。

当社は今後も、横浜事業所において『青ガエル』の復原作業を続けていくと共に、鉄道車両製造技術を伝承するシンボルの一つとして保存してまいります。

■ 東急電鉄 5000 系主要諸元

最大寸法：18500mm×2700

定員：140名

最高運転速度：105km/h



東急電鉄5000系（初代） 1957 年 12 月撮影

■ 本車両の来歴

年	来歴
1956	新造（東急電鉄 5000 系デハ 5015）
1980	改造（長野電鉄 2500 系モハ 2510）
1997	廃車
2022	当社取得
2025	機械遺産第 128 号認定



外観の復原作業が完了した東急電鉄 5000 系